



たくましい村松っ子

9月の生活目標：あいさつ名人になろう

令和7年9月26日 第9号
文責：校長 日高 文博

言葉の獲得

人はどのように言葉を獲得していくのか、様々な観点から研究が行われています。その中に興味深い話がありました。

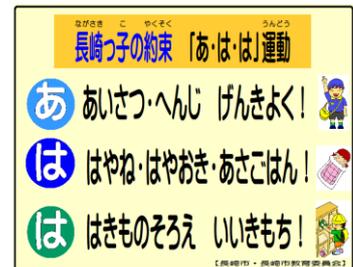
人は表情（感情）と音とを関連付けて言葉を獲得していくというのです。

初めて赤ちゃんが発する言葉の多くは、赤ちゃんがよく耳にする言葉で、その音を真似て発していると考えられることが多いようですが、実は、その音を発している人の表情（感情）を全身で捉え、心地よい感情と体感した音を獲得しているというのです。その証拠として、生き物の中で唯一人間の赤ちゃんだけが、単純化した表情マーク（例：にこにこマーク）に反応するのだそうです。他の動物は、動きのあるものへのみ反応しますが、人間の赤ちゃんは良い感情マークには、安心の表情となり、怒りの感情マークには不安な表情となります。つまり、言葉を音として獲得しているのではなく、感情を表現するコミュニケーションのツールとして獲得しようとしているのです。

LINE等のSNSトラブルが昨今増加しています。連絡調整のような伝達機能としては大変便利なツールですが、そこにはその人の表情がありません。トラブルの原因はそこにあるのかもしれませんが。

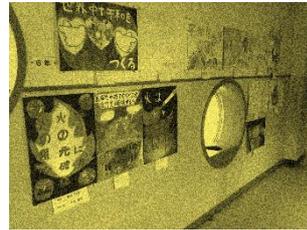
人が言葉の意味を表情（感情）と関連付けて理解しているのであれば、面と向かって話す他に、意を伝える術はないように思います。

子どもたちのトラブルが少しでも減ることを願っています。



夏休み作品展

9月3日（水）～5日（金）に夏休み作品展を開催しました。どの学年も力作ぞろいで子どもたちのがんばりや工夫が伝わってきました。保護者の皆さんの励ましやアドバイスもあったことと思います。ありがとうございました。



ふれあい動物体験

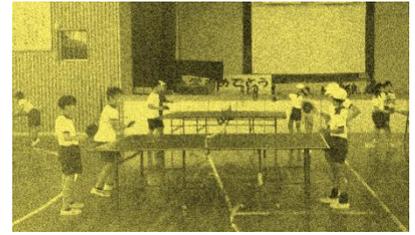
9月11日（木）に、1年生がさまざまな動物に触れ合う体験を通して動物をかわいがる心情を育てることを目的としたふれあい動物体験が実施されました。3年ぶりの体験ということで、西彼農業高等学校の皆さんが、ポニー・リクガメ・子ぶた・にわとりを連れて来てくださいました。子どもたちは嬉しそうに、触ったり、抱き上げたり、乗ったりして動物たちと触れ合っていました。微笑ましい様子でした。



クラブ活動

村松小学校には、共通の興味や関心を追求する活動を自発的・自治的に行い、望ましい人間関係の形成と個性の伸長を図る目的として、クラブ活動が実施されています。4年生から6年生の子どもたちが年間6回、火曜日の6校時に楽しい活動をしています。今年度は10月と11月の残り2回です。今年の11のクラブ名を紹介します。

- ①卓球 ②スクラッチ ③運動場ボールゲーム ④体育館運動 ⑤もの作り
- ⑥読書・マンガ作り ⑦室内ゲーム ⑧一輪車 ⑨ダンス ⑩手話 ⑪手作り



福祉学習

4年生の総合的な学習で「福祉」について学習しています。9月18日（木）には、長崎自立生活センターから山口和俊さんをお招きして、「障害とは何だろう」というテーマのもと、いろいろなお話を伺うことができました。子どもたちは、自分たちができることを考えながら、真剣に話を聞いていました。



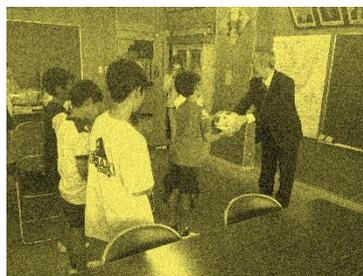
野外宿泊学習

9月17日（水）～9月19日（金）に5年生が日吉自然の家へ野外宿泊学習に行きました。ペーロン・ボンファイヤー・野外炊さん・オリエンテーリングなどを体験し、仲間と協力する心・自分で進んで行動する力・自分や友達に関する新たな発見といったことを学びとして学校へ持ち帰ってきました。恐竜博物館にも足を運び、見聞を広げることができました。今回の学びを今後の学校生活に生かしていくことを期待しています。



サッカーボール贈呈式

9月24日（水）にJリーグのスポンサーである明治安田生命長崎支社から、サッカーボールが寄贈されました。子どもたちにサッカーに親しんでほしいという思いから、全国5,000校の小中学校に贈られているそうです。代表としてサッカークラブに所属している6年生に受け取ってもらいました。



※画像は個人が特定されないように処理しています。